

# 1月 ことばの力



日本語雑記帳



ものの言いかた西東

「おねえさん」は何歳まで？世間一般では 30 歳あたりらしいけれど、花街では現役なら 80 過ぎても「お姐さん」。角が立たないようにと悩む呼びかけのことばの他に多彩な方言・時代を映すことばなど、さまざまな角度から日本語を考察しています。

東北人の話し方が短いことはよく知られています。例えば「ドサ」「ユサ」（どこへ行くの？「お風呂にいきます）」で話は通じ、飾り気がなく単刀直入。一方、上方人は「ごめんやす」と訪ね「お越しやす」と出迎えるなどのあいさつが定型化し、形式を重んじます。地方によって方言も含めた会話の作法の違いを明らかにしたのが本書です。地域差を知っていれば、無用な対話の摩擦は避けられるかもしれません。

## 語彙を豊かに



あいまい語辞典

物事や自分の意思をはっきり述べることを良しとしない感性が日本人にはあります。そんな日本人にとって「あいまいな表現」がもたらすゆとりと柔軟な機能は便利ですが、腕曲的な表現が多くなり、聞く方は空気を読んで相手の真意を汲みとる能力も必要です。話す相手や場面、状況によって意味が変わることば 260 語を解説。

ひとりで考えごとをするときも、他者とのコミュニケーションにも不可欠なのがことば。奥深いことばの世界、探ってみませんか。



## 気になる今どきことば



擬音語・擬態語の読本

もしも、オノマトペ（擬音語 擬態語）がなかったら、憧れの人に会う「ドキドキ」や麺のおいしさの「ツルツルシコシコ」を端的に説明するのは難しいものです。短い言葉でストレートに感じが伝わるオノマトペ 120 語を意味の近いもの同士を並列することで使い方の違いを解説しています。文学作品の用例や英語ではどう表現するかも紹介。



問題な日本語

おかしいのでは？と思う「問題な日本語」を日本語の達人「明鏡国語辞典」の編者・編集委員がわかりやすく解説。どうしてそのような使い方・発音になったのかを語学的に分析した上で誤用か許容できる使い方を示しています。目次のツッコミと四コママンガが笑えます。



五感トレーニング

五感とはそのことばが相手にどういう感触・印象・雰囲気を与えるかというものです。同じ意味のことばでも選択を誤ると思われ違和感、ときには不快感を招くこともあります。自分の意図する通りに「伝えたいこと」を「適切なことば」で表現するにはどうするか。類義語の微妙な違いを識別する能力の言語感覚を磨くためのヒントが 55 の問答形式で書かれています。



ことば診療所

ことばとコミュニケーションにお悩みなら当診療所へ。敬語やあいさつはもちろん表情や小ネタの作り方、空気の読み方まで日本語学研究学者の金田一秀穂と女優柴田理恵が着地点へ導いてくれます。「正しいことば」に縛られるのではなく「適切なことば」を使うことの大切さを教えてくれる日本語指南書です。



できる大人のモノの言い方大全

ピンチをチャンスに変えるひと言、「それ違います！」を上手に伝える方法など知っていれば便利なフレーズ事典。会話のきっかけをつかむのが苦手な人、少しは気の利いた言い回しができるようになればと思っています。人に参考になります。